



工作会活動記録(2019年3月)報告書

報告者：吉田小恵子

行事名	工作会研修「バードカービング」	担当 1 班
実施日時	2019年3月6日(水曜日) 9時30分～14時30分	天候:晴
場所	売布ぷらざこむ1 2F 21号会議室	
参加人員	MNC 会員 40 名	
参加者氏名	<p>フリー；中尾</p> <p>1 班；平山（元）、宮川、村上、橘、大地（祥）、吉田、澤井、中村（幸）、新井、鹿本、大地（敬）、藤原 (12 名)</p> <p>2 班；松田（秀）、今西、加藤、松生、小童、笠間、多田、田中、小林、森本、西岡、牛塚、竹内、小山、松本 (15 名)</p> <p>3 班；永田、詠田、沼田、西島、永野、香川、新宅、石原、藤野、上條、花島、石堂 (12 名)</p>	
報告事項	<p>午前；1 班より本日の工作について説明。制作に取り掛かる。</p> <p>2 月工作会で見本を提示し、希望調査を行っていたので（2 月欠席者はメールで調査）ホオの木の板(厚さ 5 mm)で木型を用意しておいた。鳥の種類は、カワセミ 2 種、アカゲラ、ヤマセミ、スズメ、アカショウビン、キクイタダキの 7 種。見本や、カワセミを例にした作り方を参考に、各自 2 種制作に取り組んだ。目の位置や各部の模様など鉛筆で書き込んで、その線をカッターナイフと釘などではっきりとつけていく作業で、ホオの硬さにてこずった人がいたようだ。あとは、やすりで角を取り表面を滑らかにする。ここで、木型を持ちやすくすることもあって、先にブローチ用のピンをつける。5 mm と薄い木なので、ピンを留める木ねじの先を切ってあったが、表面にねじの先が出てしまった人がいたようだ。続いて、ラッカー、ジェッソで下塗りをしたらアクリル絵の具で色を付けていく。釘に色を塗った目玉を取り付け、最後にニスで表面を保護し完成である。</p> <p>午後；11:30～12:20 工作会の幹事・班長／副班長(運営委員会)</p> <p>12:45～12:55 班会議…次年度の班長／副班長の決定</p> <p>12:55～ 午前の作業の継続</p> <p>14:10～14:20 後片づけ</p> <p>14:20～14:30 まとめ・連絡事項…今後の予定。</p> <p>※次年度 工作会幹事は大地さん。</p>	
	<p>工作会写真</p> <p>見本</p> 	<p>準備物</p> 

## 作業風景



作業を説明



全体のようす



熱心に取り組む



線を引く



溝を切る⇒下塗り



着色

## 作品集合



## まとめ 感想

自然工作とは違った工作で、色を塗る作業にとまどうことも多かったのではないかと思います。皆さんとても熱心に取り組まれました。作業を終わり、片づけにかかりましょう、の聲がかかるまで、多くの方が作成を続けていました。一人2つは少し負担が大きかったかな、とも思いましたが、各自工夫されてほぼ仕上げられたようです。かわいらしい作品をさっそく胸につけて帰られる方もいて、良かったと思いました。

今回の準備に当たっては、3班の青山さんが、木型の作成、ブローチ用ピンの準備、木ねじの先端を切る、目玉用の釘を加工する、などの大変な作業を担っていただきました。青山さんのお力なしでは、実施できませんでした。ご協力に深く感謝いたします。

